

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
2冊(2人)6/6現在

(自分に自信と夢を~いまをだいに、なかまとともに、一步前進をめざして) 校長 宮脇真一

5日(水)のことです。校長室前に1年生の男の子がやって来て、私に1冊のノートを手渡してくれました。ノートの内容はお母さんと一緒に取り組んだ「自学ノート」です。ひらがなの練習と算数「いくつといくつ」の練習が毎日繰り返されていました。いま、できることに粘り強く取り組んでいることをうれしく思います。学習に向かう6月の始まりです。



4年前に挿し芽で増やしたアジサイ

(2024/6/5撮影)

「まもなくです」 ~ 準備がすすんでいます ~

今週は、校内のあちこちでスポーツテストが実施されています。同時に、水泳の学習の開始に向け、プールの掃除を行っています。プール掃除と言えば、高学年が半日がかりで行っていましたが、今年から教育委員会の委託業者に全体の掃除を行っていただいています。



委託業者さんに清掃をしていただき



高学年が仕上げをしています

今週末には注水を始め、水質検査を経た後に各学年のプール開きを20日あたりから実施予定です。水の中での学習は、安全への配慮がたいへん重要です。例年と同様に、朝、登校時の保護者による健康観察と授業直前の担任による健康観察のダブルチェックを経て、水泳の授業に参加可能となります。これは文部科学省のガイドラインに基づいた対応です。保護者の皆さんには朝の健康観察とプールカードの記入、持参への協力を確実にお願いします。(カードがない状況での入水はできません)また、学校運営協議会から、水泳授業時の見守りボランティアについてのお願いも近日中にアプリで届く予定ですので、御協力いただけると幸いです。

心のきずなを深める月間 ~6月は心のきずなを深める月間~

本校では、互いを呼び合うときに「さん、くん、ちゃん」をつけることを約束しています。また「優しい気持ちで話す、優しい気持ちで聴く」ことも大事にしています。しかし、心ない言葉で相手を傷付けたり、気持ちが沈んだりすることは皆無ではありません。そんな時、心の支えになるのは、なかまの存在です。自分の気持ちを受け止めてくれるなかま、ともに気持ちを伝えようとするなかまの存在は一番の力です。

互いを理解し合い、尊敬し合う出発点は「心を開き、相手に迫る」行動、つまり挨拶にあります。「相手が挨拶をしない」ことを責める前に、「自分が挨拶をしているか」振り返ることが大事です。言葉での挨拶、身振り、手振りでの挨拶、会釈……方法は様々です。昨今の社会情勢から「知らない人に声をかけられても簡単には応じない」状況もありますが、私たち大人が率先して挨拶を交わす姿を示していきたいものです。